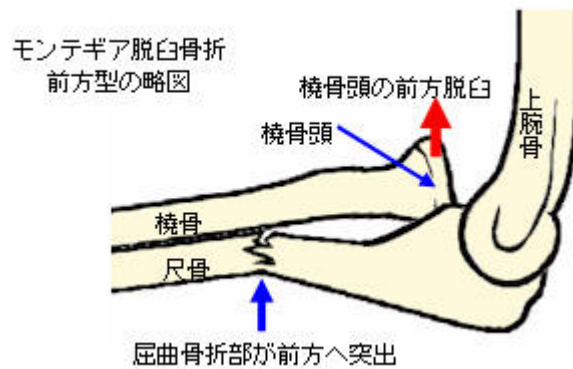


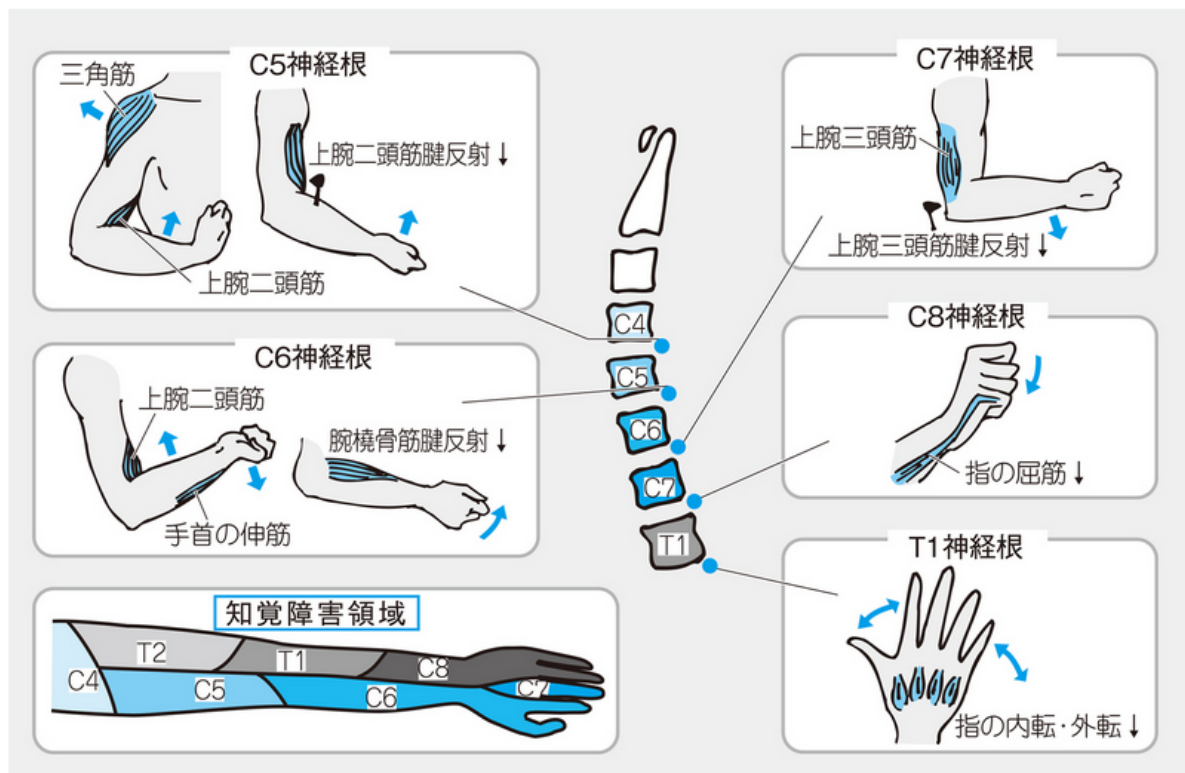
復習した日 1/29

肘関節においては前後方向の力に対する抵抗性は、後方の肘頭よりも前方の鉤状突起の方が弱いため、後方脱臼が、肘関節脱臼の90%以上を占める

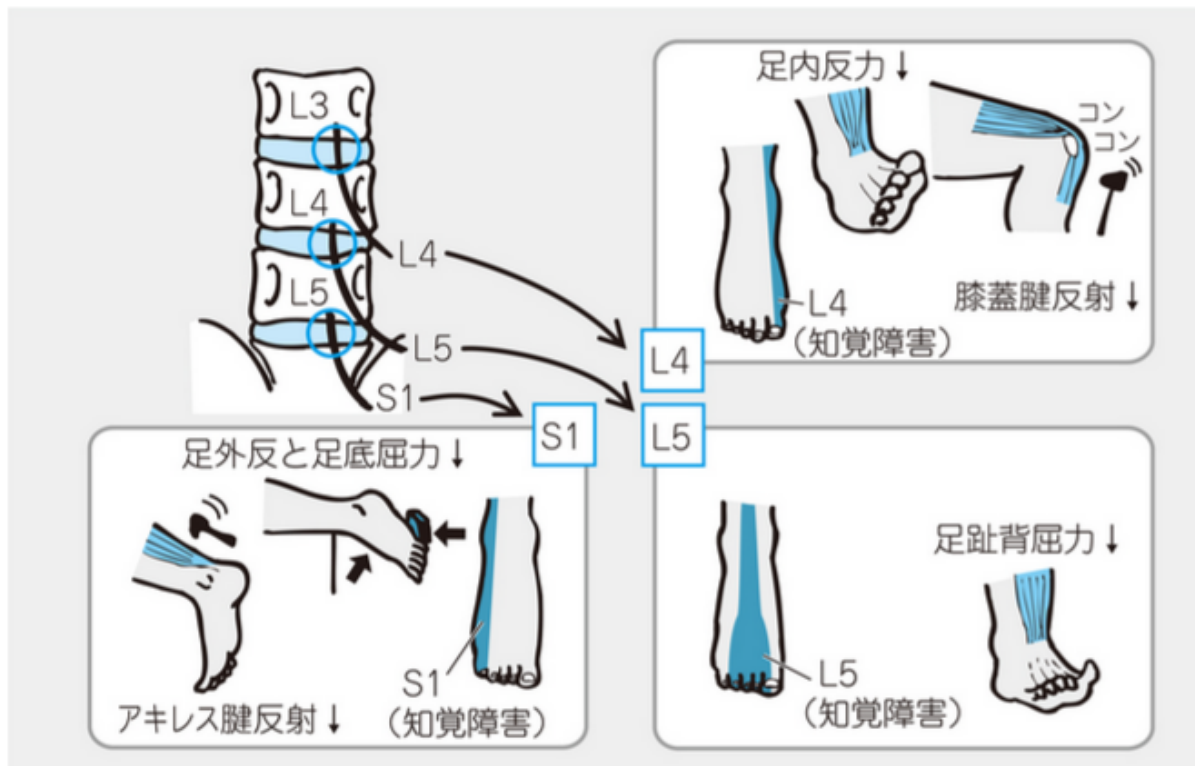
Monteggia骨折



■ 頸髄損傷と神経根症状



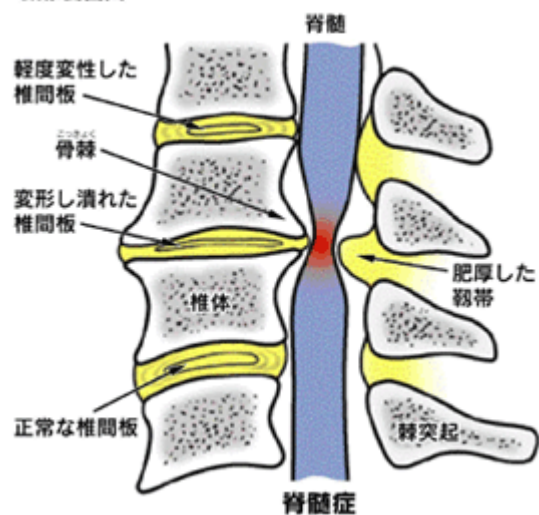
■ 腰椎椎間板ヘルニアの高位と神経根症状



頸椎症性脊髄症

加齢変化による頸椎症（椎間板の膨隆・骨のとげの形成）の変化によって、頸椎の脊柱管（骨の孔）の中にある脊髄が圧迫されて症状が出ます。

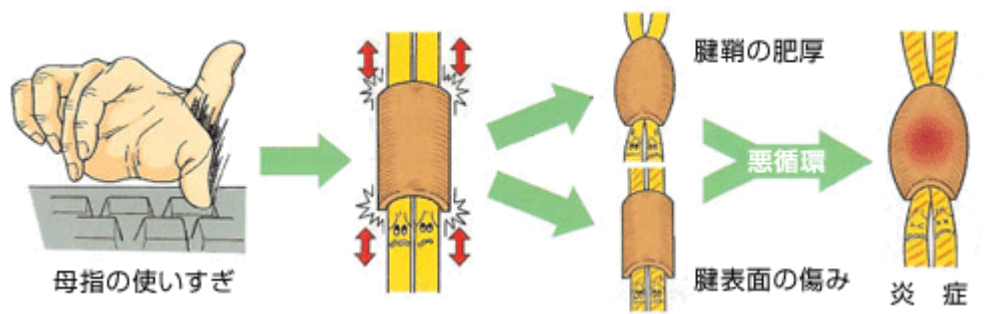
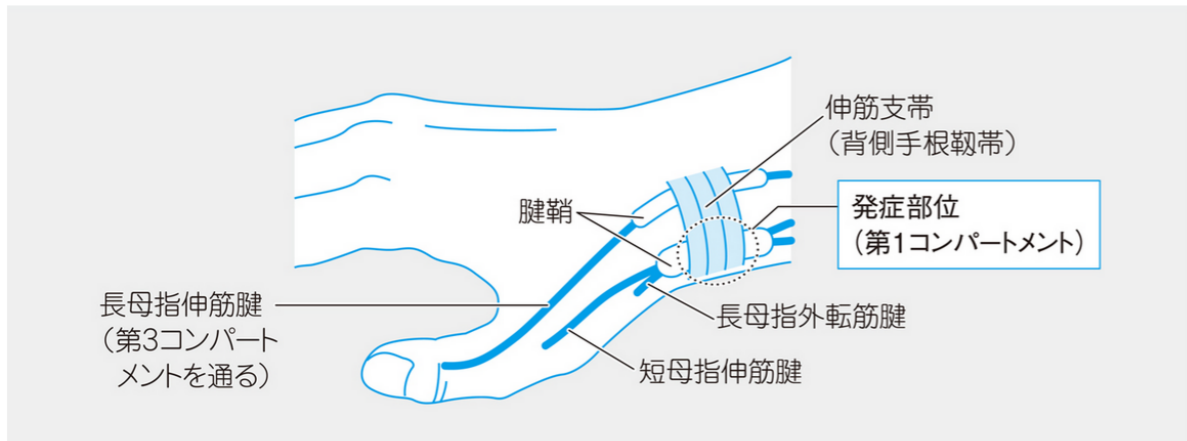
頸椎側面図



de Quervain病（狭窄性腱鞘炎）

母指（親指）を広げると手首（手関節）の母指側の部分に腱が張って皮下に2本の線が浮かび上がります。ドケルバン病はその母指側の線である短母指伸筋腱と長母指外転筋腱が手首の背側にある手背第一コンパートメントを通るところに生じる腱鞘炎です。

■ de Quervain病 マT65



母指を写真のように小指側に牽引したときに痛みが強くなることで診断します（フィンケルシュタインテスト）



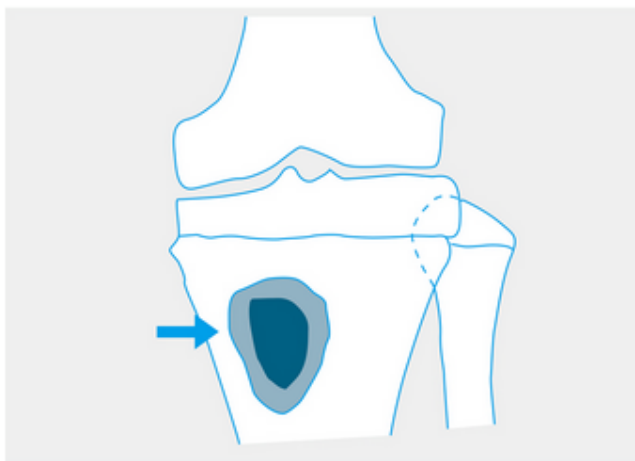
■ Dupuytren拘縮 マT66



手掌から指にかけて硬結(こぶのようなもの)ができ、皮膚がひきつれて徐々に伸ばしにくくなります。薬指(環指)、小指に多く見られますが、他の指や足の裏にもできることがあります。痛みや腫れなどはありません。

● Brodie膿瘍

慢性化膿性骨髄炎の一種で、骨幹端部に限局した骨破壊巣を作り、その部位がX線写真で円形透明巣を作る。骨幹端部では動脈はループを成して静脈に移行し、血流が緩徐となる。このため菌が定着しやすい環境にあるので、骨髄炎の好発部位なのではないかと考えられている。



Tinel徴候

手根管で正中神経が圧迫されている部位をたたくと痛みが指先に響きます



骨形成不全症

3徴

- ・易骨折性
- ・難聴
- ・青色強膜

■ 骨巨細胞腫

- ①骨成長完了後（骨端軟骨線閉鎖後）の20歳から30歳代に多い。
- ②長管骨の骨端部から骨幹端部にかけて多く、全症例の約60%は大腿骨遠位部、脛骨近位部の膝関節周囲に発生する。
- ③腫瘍内切除術では再発率が高い。
- ④X線像で長管骨の骨端部に偏在性で嚢胞状の骨透亮像（soap bubble appearance）を認める。

橈骨遠位端骨端部に鶏卵大の境界明瞭な骨透亮像 (soap bubbled appearance)



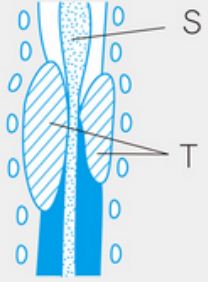
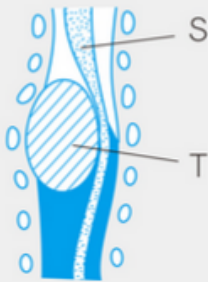
■ 転移性骨腫瘍

悪性骨腫瘍中最多であり，原発巣では乳癌，肺癌，前立腺癌が多い．

X線上，以下のように分類される．

- ①溶骨型：腎癌，甲状腺癌など
- ②造骨型：前立腺癌，乳癌など
- ③混合型：肺癌など

■ 背髄腫瘍の鑑別 J207

	硬膜外腫瘍	硬膜内髄外腫瘍	髄内腫瘍
頻度	20%	55%	25%
ミエログラフィー	H型	騎跨状	表面浮彫
性状	転移性腫瘍が多い (原発巣：肺癌＞乳癌＞前立腺癌)	良性腫瘍が多い (神経鞘腫＞髄膜腫等)	神経膠腫が多い (上衣腫，星細胞腫)
S：脊髄 T：腫瘍	硬膜外腫瘍 	硬膜内髄外腫瘍 	髄内腫瘍 